

雪城真冬

MAFUYU YUKISURO

B103W63H99

162

音虎学園二年生

テニス部エース

王林家に代々仕える

雪城家の三女

幼少からヘイスケに

仕えているが実際は

幼馴染の姉弟のような関係

主人であるヘイスケには

従者として線引きしているが

日々自身を揺り動かす本心に

歯がゆい思いをしている

気が強く素直になれない性格

趣味は可愛い物集め



日暮日葵

HIMARI HIGURASHI

B118W68H112

168

音虎学園教師

新体操部顧問

日暮家長女で

他の三人と同時期に従者として
ヘイスケに仕える(当時高校生)

母性が強くダメな学生を
量産している

あまり母性が強いため

ヘイスケに対して暴走する事も
しばしば…



咲春桜花

OUKA SAKIHARU

B111W60H101

172

音虎学園三年生

剣道部主将

咲春家次女

真冬らと同時期にヘイスケへ
従者として仕える

主に彼の警護を務める

人に厳しい一面を見せるが

自分には更に厳しい

だがヘイスケにはどこか

甘くなってしまうのは

自覚していない

才色兼備で学園でも

皆の憧れの存在



秋風紅葉

MOMIJI AKIKAZE

B112W65H107

158

音虎学園二年生

水泳部エース

秋風家の長女

真冬達と同時期から

ヘイスケの従者として彼の

身の回りの世話をしていた

同い年の真冬とは

最も気安い関係

ヘイスケは弟のように思いつつも

近頃は別の感情を抱き始める

常に柔らかな物腰で相手を

包み込む



古くは四百年以上
続く名家の分家
僕、王林ヘイスケは
そこに生まれた

いずれは
家督を継ぐ立派な
後継者になるべく

今日も朝寝坊を
決めている

あーもうっ
さっき叩き
起こしたのに
また…

やっと起きたっ

こおら
起きろっ

うっ

しかし
それは従者が
それを許さない…

うう…
真冬…

アタシのせいにな
るんだからっ

早く顔洗えっ

歯磨きっ

どうやら今日は

ハズレの日
のようだ…

着替えっ

ご飯っ

一秒でも
遅れたら許さ
ないんだからねっ

ごめろん
アタシだと
甘えちゃって

あら？
真冬ちゃん
朝から愛され
マウントかしら？

日向姉
そういう話を
してる訳ではない

だが
たるみ過ぎだぞ
真冬

何で
アタシのなのよ
桜花姉

物心付いた頃から
僕の側には
四人の従者がいる

うちの時の方が
もっと
甘えんぼさんやで

喧嘩売ってんの？
紅葉

見慣れた登校風景
それでもやはり
周りの注目を集める

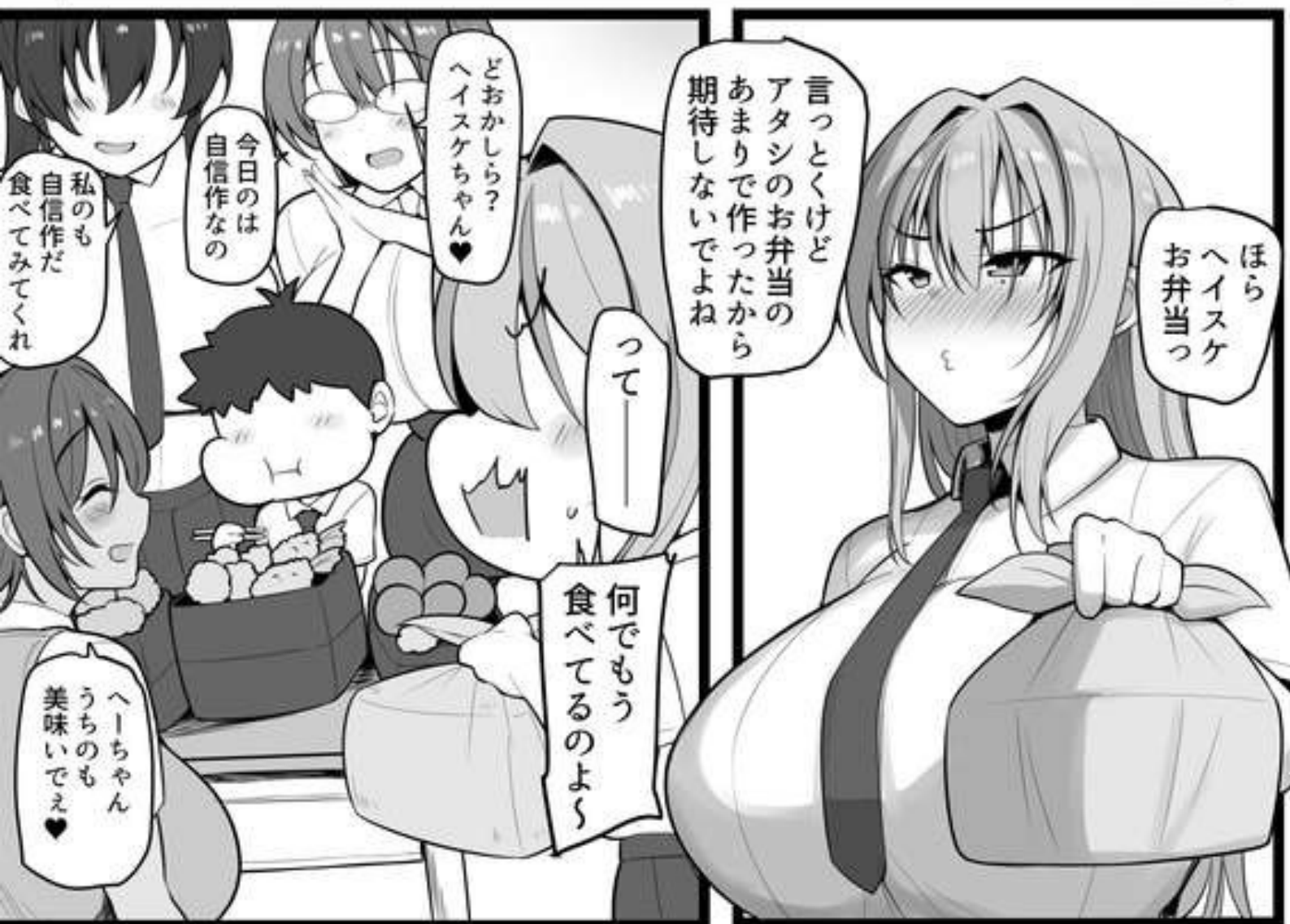
ほんまう？

また…
見られてる…

何だ？
あれっ？

おっばいに
囲まれやがって…

ハイレベル
美女四人侍らせで
登校とか大名かよ



放課後









彼女たちに
接していると
いつも思う

僕はなんて
幸せ者だろうと

話は
聞いております

はい
父より
将来家督を
継ぐ者として

環境を変えて
見聞を広めよと
言われました

一か月間
とのことでしたね
よろしく
お願いいたします。

学校の編入は
もうお済みですか？

はい

義兄様と同じ
学園の中等部に
編入いたしました

本日から
よろしく
お願いします♥

義兄様♥

本家の
御達しにより
一か月

本家のご子息
王神ゴウタと

生活を
共にするうちに
なつた



まったく
何なのっ？
あのエロガキ……

本家の方じゃ
無ければ……
今頃真つ二つに
しているのに……

まあまあ
落ち着きや

気持ちには
わからんでも
ないけど

だかあれでも
本家の者だ
一か月耐えるしか
あるまい

しかし文官や手口が
なんとも親父臭い……

あは♥
真冬さん
おかえり〜♥

ちよつ

コイツ最近
更に露骨に……

真冬さん♥
良い匂いだねえ♥

僕この匂い
大好き♥





あ...
やっちやった...

しっ
おお
おお
いっ
いっ
!!

いてて
ダメでしよ

これは王林家当主の
ヘイスケ義兄様
監督責任だよ

従者が客人に
手を上げるなんてさ

まっまって
ヘイスケは関係ないわっ
大体アンタがっ

従者の無礼は
その主人の無礼

父上に
報告したら
どうなるだろうね？

分家のそれも
端っこなんて

嘘…
アタシのせいで…

最悪取り潰し
って事も
あり得るよねえ

でも僕も
鬼じゃないから
チャンスあげるよ♥

それなりの誠意を
見せてくれたら
考えてもいいよ♥

どうかな？
真冬♥

誠意って…
どうすれば…？

へへ♥
それはね♥

は…
ちゅぽい

だめえ…
ちゅぽい
ちゅぽい



提示された
条件それは

あは♡
来た来た♡

ほら♡
何て言うんだっけ？

真冬♡

三日間
コイツの
従者となる事

未熟な…
従者にどうか…
ご指導を…

お願い致します…

うんうん♡
ぎこち無いけど
まあいいでしょ♡





っ！

そんなに
怒らないでよ♡

ほら真冬♡



調子に乗んな…

あは♡
気が強いなあ♡



あつちよつ
痕付けないでっ

なあんだあ♡
お風呂入って
来たのお？

僕真冬の汗の匂い
嗅ぎたかった♡
のになあ♡

まっ♡これから
たっぷり汗をかかせて
楽しむんだけど♡

気の強い女性は
大好物だよ♡

どうせ最後は
僕に負けちゃうん
だけどねえ♡

そういう所が
ホント
気持ち悪いのよ…



ひやうっ!!
なっになっ!!

あは♥
二つも
付けちゃった♥

でも僕のモノ
なんだから
良いよね♥

最悪...



真冬の
綺麗な肌に

しっかり
塗り込んで
あげるな♥

大丈夫♥
ただのローション
だよ♥

乳輪が
ぶっくり
してきた♡

あは♡
良い声に
なつて来たね♡
真冬♡

やばっ…
このままじゃ…

気持ち良い事
いっぱい
教えてあげるよ♡

相変わらず
ねっちょい
触り方…

あえて
乳首を外して来て…
ほんつとムカつく…

まずは
手始めに—

乳首でイケ♡

この隙に
エロ顔にも
キスアゲク

ほらほら♡
この機会に

乳首イき
しつかり
覚えろよ♡

うそ…
アタシ…
乳首だけで…

真冬がスケベ
過ぎて僕も
我慢できないよ

っ
!?

でっか……

冗談でしょ…?

ちよっ
どこどこすってっ

いいじゃん♥
真冬も
気持ちいいしよ♥

んなわけ
ないでしょ…
このキモガキ…





